



2024年1月

栃木県テニス協会 理事長 吉井正光

TTA レポート(No.129)

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は TTA の事業に多大なるご支援を賜りありがとうございました。

2023年は、役員改選により理事長が交替し新たな体制となりました。理事長として初めて経験することも多くあり、その対応に追われた1年だったように感じていません。

この1年を振り返りますと、5月に関東オープン大会ベテランのディレクターを務めました。本県の担当種目は70才以上のベテラン選手で、体力(体調)面を心配していましたが、杞憂に終わったことは驚きと安堵感で満たされました。

次に鹿児島県で行われた特別国体では初日の雨による順延、最終日には桜島からの噴煙という自然の洗礼を受けてきました。結果はご存じのとおり成年女子が3位という嬉しい結果を残してくれて、感謝しかありません。

県内の大会では、新型コロナウイルスが5類になり従来どおりの大会が開催できるようになって、参加者が戻ってきていることが何より嬉しいことです。コロナ禍前に比べるとまだまだですが、明るい兆しではないでしょうか。

さて、今年の TTA は、従来の大会を開催していく以上に新しいことを始めたいと考えています。一つには栃木県スポーツコミッションと連携して、栃木県の魅力を発信しながら栃木県のテニスを盛り上げていきたいと考えています。手始めに関東オープン大会ベテランで栃木の魅力を PR していきたいと思えます。

新しい大会としてはバボラカップへの参加を目指し、栃木予選を開催します。

本県にはスポーツ指導員が配備されていて、これを活用して多くの若手選手を育成強化するため TTA 主催大会の最終日に指導講習会を開催することにします。

次には、栃木県で賞金大会を開催したいと考えており、その為にどういうことをすれば良いのかなどの調査を始めたいと思えます。

関東地区で賞金大会が無いのは栃木県だけで、これが盛り上がり欠ける要因になっているかもしれません。だとすればぜひとも賞金大会を開催して県外の選手を呼び込み、県内選手を刺激できたら何らかの変化が生まれるのではないのでしょうか。

2024年は辰年です。辰に肖り昇り龍のごとく栃木県のテニスを盛り上げていきたいと役員一同が一丸となって精進してまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願いいたします。

